

2022年9月号
No.287大津島データ 145世帯
人口 196人 男 81人 女 115人
高齢化率 80.6%
(令和4年7月31日現在)

題字：末兼南子さん イラスト：大津美子さん



おめでとうございます

赤ちゃんが
生まれたぞ !!BIG
NEWS

お誕生日は、5月17日です。



(8月4日撮影)



光(みちる)ちゃん

この身にしみる暑さの続く中、さらにホットなニュースが飛び込んできました。

刈尾地区の波多野守さん、美奈子さんご夫妻の間に女の子が生まれました。

「市長と語るまちづくり」懇談会が行われました



7月14日(木)、大津島ふれあいセンターにて、藤井律子周南市長を迎え「市長と語るまちづくり」懇談会が開催されました。今回の懇談会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を地区コミュニティ推進協議会関係者など10数名に絞り、地域で行われている活動の状況や地域の課題、地域の思いなどを市長に伝えました。



市長からは、地域の皆さんの貴重な意見を直接聞くことで、今後のまちづくりの参考とし、大津島地区で生活する上での具体的な課題等は持ち帰って担当部署でしっかり検討していただく旨を終わりの挨拶とされて島を後にされました。

報告者 大津島地区コミュニティ事務局 沖 武士

ホームページ「周南地域づくり応援サイト」でも、『潮流』をご覧になれます。【大津島 地域づくり 潮流】で検索！

昭彦君(あきー)を偲んで



はあった。何度も何度も一緒に島で活動し、語り合った。「悔しい」という思い、「お前、3週間で帰ってくるんじゃないか」という思い、誰にもぶつけられない叫び。会館へ急ぐと彼の優しい寝顔があった。あきーが滋賀から帰ってきてからの方がよりフランクに付き合っていたと思う。仕事の面では苦労はあったかもしれないが、そんな素振も見せずに、みんなとわいわい過ごした。大津島に対する思いも大津島郵便局に勤務することで島の現状と向き合い、快く多くの役を引き受け、若潮の会の活動で幅を広げていった。色々なところの繋ぎ役でもあり、多くの人が支柱を失った思いであろう。

我々も、これからウィズコロナ、アフターコロナに向けて活動を本格化していかなければならない。あきーの大津島への思いを受け継ぎ、活動をしていくことをお誓いし、追悼のことばといたします。

合掌

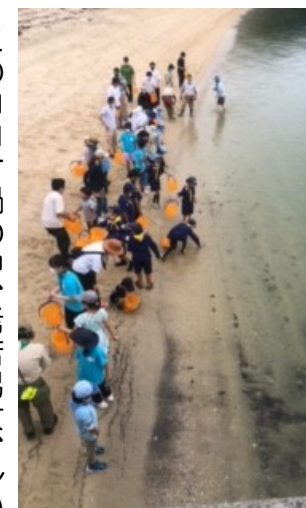


文＝若潮の会 代表 佐々木 照彦

若潮の会通信 No.46

海と日本PROJECT

in 大津島



文＝若潮の会 安達 俊彦

このコロナ禍の中、老若男女、じい・ばあ・子供達に、島を綺麗にしてくださいました。7月9日、大津島刈尾、三ツ石で海岸清掃。三ツ石海岸でのゴミ拾い。そーいやあー、昔ってこんなにゴミが流れて来てたかなあー？っと思いつつ…もう一砂の中に何層も重なり合い、トンゲでは取りきれないほど(今度こーい子君、コンボで掘り返してね) 毎年「ゴミは、無くならないものです。清掃の後、子供達による稚魚放流ヒラメ約200匹、ハケツの中のヒラメ踊り食いしてやるーかって思ったんですが、ちよっと大きかったので辞めました(ジョーダンですけど)。しっかり大きくなって、帰って来て下さい、ヒラメちゃん。

不慣れた畑づくりシリーズ ④

8月も過ぎ、我が畑もぼろぼろ収穫ができています。

とはいえ茄子、ピーマン、大葉、しとうと唐辛子位ですが…

ただ去年と変わったことが1つあって、毎日水やりを必ずするようにしています。(あたりまえ)

それも功を奏したのか、今年は雨が多く無かった中で、割と育ってこれるので水やってほんま大事やなと感じている次第です。



文＝内山 剛

写真の唐辛子、生で噛んだんですがあまりに辛くて舌がおかしくなりました。(笑)

僕はココ巻(カレー屋)の10辛は余裕で食べれるんですが、野菜の生の味って特別だなと感じた瞬間でした。

帝岬からワークライフバランス

文川大津島支所
中村 卓広



島でのルーティンとして、刈尾海岸、特に帝岬廻りを散策しています。昼休み時間なので、労災保険の適用除外につき、ゆめゆめ海難事故に巻き込まれないよう肝に銘じながらも、海岸線の景色に魅了されながら続けております。

■大津島ふれあいセンター

ふれあいセンターにある元公民館文庫に新しい文庫が数冊入荷しました。



お気軽に寄って下さい。



てくると、あたりまえですが、一日として同じ景色ではないことに気づくようになります。海の透明さや白波の方向、水鳥やトンビ、カラスのなわばり、そして、一匹も目にしない日もある大群フナムシの気まぐれなど。

最近、おおいなる波のチカラを感じています。いつも目にする大木が、知らないうちに別の岸まで大移動。これほどのエネルギーの前では、人間はひとまりもないでしょう。シーズン中は、用心するにこしたことはないですね。隠れメタボ解消の散策もいいですが、そういえば、ビー玉石を探していました。持って生まれた目チカラと、潮の満ち引きの運もあるのでしょうか、今のところ、半年に1個のペースで合計3個。なかなか気の長い話ですが、これからも、島ならではのスローライフ（昼休み）と、ままならぬ支所業務とのバランスをとっていききたいです。



これからよろしくお願いします

7月より大津島郵便局で働くことになりました清水尚美と申します。大津島には、前職で来たことがあります。船に乗るという生活が日常になってきました。元気いっぱい頑張っています。よろしく願い致します。



大津島郵便局 清水 尚美



※新型コロナウイルス感染症について、全国的に急激かつ大規模な感染拡大に直面しております。移動や外出の機会が多いですが、気を緩めることなく、引き続き、「3密の回避」「十分な換気」「マスクの着用」など、感染症予防対策の徹底をお願いいたします。

◆6月に大津島支所での期日前投票が実施されました。期日前投票は、1日のみの投票となっております。今後とも、期日前投票をよろしくお願い致します。

お知らせ

【次回潮流発行予定日】
11月1日 第288号

【9月～11月の主な島の行事予定】
11月13日（日）回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式

移動図書館 やまびこ号ジュニア
9月24日（土）、10月（未定）
馬島11：30～ 刈尾12：20～

大津島地区社会福祉協議会からのお願い
善意銀行への寄付にご協力ください

【編集後記】新米の季節になりました。私は、米よりは、麺類が好きです（笑）まだまだ厳しい暑さは、続きます。熱中症にならないように十分に水分補給しましょう。これから台風シーズンなので、皆さん台風に備えましょう。

文責：原田 和保

知っちょるかな

蠢くもの

私が10歳あまりの頃の話です。

たんぼ、ちゅうて分かるかいね。島では水路の事をそう呼びよったね。馬島地区には特に多くて、何本ものたんぼが集落の上から海まで続いちゃった。日頃は少しの水が流れるばかりのたんぼじゃったか、高潮や台風の時には逆流して、大分上の方までタプンタプンと塩水が来よった。

ある夏の夕方、一人の女の人が用があって知り合いの家に行こうと、たんぼの横の道を歩きよった。「今日は大潮じゃから、潮が高いのう。」こまで水がきちよる」と思いながら道を登りよったら、階段になってたんぼが切れる所に、何やら見慣れぬものがある。それは真っ黒でヌラヌラ水気が多いようなものが、たんぼの壁に引っ付いちよるように見える。動くとも見えんから、「誰かゴミを捨てたに違いなあ」と思つて近づいていくと、ぬるーんとそのものが動いて、階段の横のたんぼが縦になっちよる所を登ろうかというように手のようなのを上側にペタッと動かした。手のような、ちゅうが、ただ真っ黒、爪も無けりゃあ、関節も無あような。たまげて足もなんにも動かんようになった女の人が尚も見

ちよると、坊主のような真っ黒な頭が振



文川松本 千恵子

り返つて、こつちを見ちよる気配。「さてはこれがえんこう坊主じゃろうか」と思いながら後ろへそろつと下がろうとせよったら、えんこう坊主の首がニョーッとのびてクニヤンと下向きに落ちるかのような、その中で目が開いてこつちを見たような、途端に背中から毛が逆立つようになった。動かんかった体が跳び上がった後をも見ずに走る走る。家に飛び込んで震えながら話す妻に、「バカタシが、こやとに子供せがわれた（からかわれた）のいや」と父ちゃんはてんで相手にせんと鼻先で笑う。絶対見たといくら妻が言い張ろうともてんで、相手にせんのを見て、黙って聞いていた婆さまが、「不思議ちゅう言葉があるちゅう事は、何か分からん事も有るちゅう事じゃろうでよ」と呟いた。

次の日から島中で、えんこう坊主の話が広がった。そうすると、中には同じようなものを見たという人が何人か出た。みんな夕方暗くなる寸前の時間に、たんぼで真っ黒な坊主を見たというものだ。しかもそのたんぼは同じたんぼではなく違つたんぼだと言つてはいないか。しばらく女子供は暗くなってからは外には出なくなつたという。

徳山誘見聞録

34

艦船の水を支えた海軍御用水槽の遺構

文川大津島巡航 三崎 英和

周南市は工業化に必要な水の確保が以前から大きな課題であり、その始まりは明治38年に設置された海軍の徳山練炭製造所の誘致活動時まで遡ります。その当時の軍艦の燃料は石炭ではなく練炭が求められました。その理由は、石炭を燃焼させると多量に発生する灰は、船上での処理には多大な時間と労力が必要ですし、大量の煙の発生は敵に自らの位置を知らしめることになります。そのため、煙の出にくい石炭（無煙炭）だけを集め、それを粉砕して灰の原因となる不純物を洗い流し、再度固形化した練炭は船の燃料には最適でした。

そのため、練炭の製造には多量の水が欠かせないものでしたが、もともと水の少ないこの地域のため、街の発展に欠かせない製造所誘致には苦勞されたようです。その後、燃料の補給のためた



イラスト 三崎 英和